

GENESIS

発行 社団法人西脇青年会議所

事務局 〒677-0015 兵庫県西脇市西脇 990 西脇商工会議所内

TEL 0795-22-3901 / FAX 0795-22-8739

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

平素は社団法人西脇青年会議所の活動に、御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、最近の時代を象徴する言葉として、よく「変化」という言葉が使われます。昨年は政権交代に代表される「変化」を政治は遂げ、国民生活も「変化」がもたらされました。しかしながら、「変化」がすべてにおいて良い結果をもたらさないという事も我々国民は実感しました。ここ数年で私たち社団法人西脇青年会議所にも大きな「変化」が起きております。メンバー数の激減、対外事業の内容変更など、受動的、能動的にかかわらず「変化」がおきております。本年はこの「変化」のベクトルを良い方向へ向けるべくメンバー一丸となり活動していく所存でございますので、昨年と変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



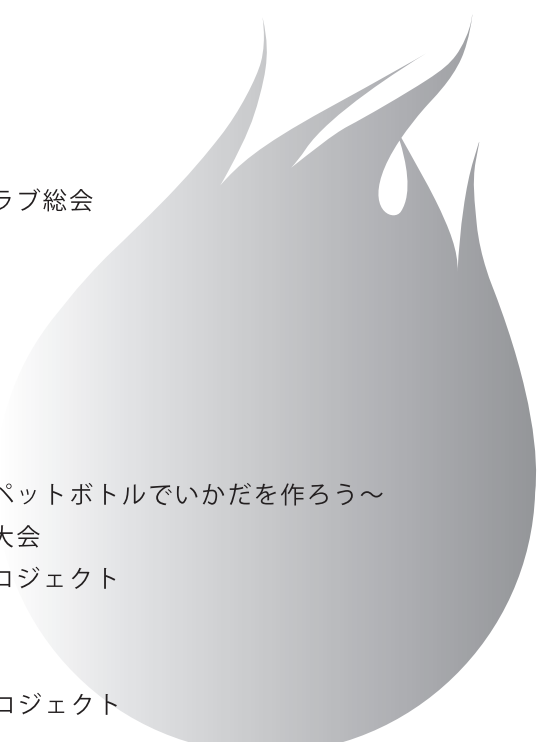
社団法人西脇青年会議所
第50代理事長 藤井英理

2010年度LOMスローガン

My Pride! Our Pride! ²⁰¹⁰ 

年間スケジュール

<例会>	<月日>	<内容>
1月例会	1月13日(水)	新年祝賀会ならびにシニアクラブ総会
2月例会	2月10日(水)	通常総会
3月例会	3月10日(水)	講師セミナー
4月例会	4月13日(水)	広報戦略セミナー
5月例会	5月9日(日)	会員家族交流潮干狩り大会
6月例会	6月9日(水)	4LOM交流会
7月例会	7月14日(水)	資質向上セミナー
8月例会	8月22日(日)	加杉野親子ふれあい川下り~ペットボトルでいかだを作ろう~
9月例会	9月8日(水)	シニアクラブ交流ボーリング大会
10月例会	10月24日(日)	美・加杉野クリーンアッププロジェクト
11月例会	11月10日(水)	通常総会
12月例会	12月11日(土)	加杉野少年少女主張大会
※通年事業	毎月1回	美・加杉野クリーンアッププロジェクト



ご卒業

おめでとうございます!!!

2009年度をもってめでたく卒業された3人の卒業生から、卒業によせてのメッセージを頂戴しました。

今中健夫君

2002年入会より約8年間在籍させていただきここに卒業できることを感謝申し上げます。入会した当初の私は挨拶・言葉遣いに始まり、ビールの注ぎ方等、本当の基礎基本から教えていただく所からスタートいたしました。活動を通じ西脇はもとより全国各地に知り合いが出来た事、通常会社内ではほとんど意見されることのない環境ですが、JCの中では、多方面、異角度からの意見を沢山頂く事が出来ました。その御陰で、人の意見を聞いたり、議論できるようになったのはかけがえのない財産を頂いたと感じています。卒業してからも学び得たことを生かして、さらに成長していきます。



個々に環境の異なるメンバーですが、許される環境があるのなら、是非、理事を受け、日本・近畿地区・兵庫ブロック等に出向してください。時間と金銭的負担は発生しますが、その分もっと色々な感覚なメンバーと知り合え、感化を受けることが出来るはずですよ。近年メンバーも少なくなってきました。このまま行くと合併・解散等を避けて通れないようになってしまいます。メンバーひとり一人が本当にJCを良いと確信して会員拡大を行えば必ず新入会員が現れます。個人的には営業の練習と思って会員拡大を行いました。同行するメンバーの営業手法を見られる最高の機会です。どんどんチャレンジして西脇JCを売り込んでください。きっと成果が現れます。

日々の活動の中では、一見意味が無いと感じる事業や例会がありました。しかし、どのような事業でも自分の捉え方一つで、沢山の学びや気づきを与えてくれます。40歳までしかないJCです。一回一回の活動を大切に、上手に利用して成長の道具としてください。そして一人でも多くのメンバーと感動を共有してください。そんな西脇JCが続くと、必然的に会員数も増加すると思います。最期になりましたが本当に皆さん有り難うございました。最高の8年間でした。卒業後もよろしくお願ひします。

今中健夫

寺尾昌浩君

ついに自分がこの様な文章を書く日が来たか、と感慨深くパソコンにむかっています。私は、1999年に入会させていただき今まで約10年間、西脇JCにお世話になりました。その間本当に多くの方々知り合い、他では得ることができない貴重な経験をさせていただきました。時には泣いたりおもいきり笑ったり、ばかばかしいと思える事を力いっぱいやってみたりと思出すときりがありませんが、どれもこれも今となっては楽しい思い出になっています。



私が入会した当初、先輩方は本当に魅力ある方が多く、緊張してまともに話すこともできなかったことを覚えています。年だけは毎年取っていき気がつけば卒業生。そこに近付けたかどうか、些か不安は残りますが、自分では精一杯やってきたので悔いはありません！と格好よくいいたいけれど俺らしくないなあ。

JCは40歳で定年を迎えますが、同じ苦楽を共にした仲間との繋がりは一生のものであります。この繋がりをどれだけ増やせるかもJCの魅力の1つではないかと思ひます。私にも生涯付き合っていきたい！繋がってほしい！と思ひえる多くの仲間が出来ました。これは私の誇りであり宝です。私はその思いを胸に一足先に卒業させていただきますが、どうか皆さんもこの貴重な場でより多くの宝を見つけていただきたいと思います。

最後になりますが、しんどい事から逃げず、常に前向きにそして直向きに取り組む皆の姿はきっと周囲の人々を巻き込むでしょう。そんな団体に所属していた事を誇りに、皆との思い出を胸に、そして支えてくれたすべての方々に感謝し、卒業に際してのご挨拶とさせていただきます。

みんなほんまありがとう！遊びに行くときは誘ってや！

寺尾昌浩

西村憲二君

入会当初は例会日が金曜日、また自分自身が現場職人だったのを理由に、JCにあまり参加しなかった事。これは今思い返すと「最大の後悔」なんです。2004年（34歳）に副委員長をさせていただいた時から本格的な活動になったのでしょうか。2005年（35歳）に委員長をさせていただき、先輩が沢山いらっしゃる中、委員会（組織）をまとめる難しさと微力ながらも地域に影響を与える運動をJCとしてやるな〜と痛感したのを覚えています。歳は35歳。気付くのが遅い。

自分が30歳前後で西脇青年会議所の未来を考えてたかと言うと、正直、「考えてない」が答えでしょうな。でもこれちゃんと考えとかなあかん。また考えれる環境をつくつたらなあかんのとちゃうかなあと思った。自分の年齢がベテランと言われるようになった頃、当時から仲良くしてた寺尾昌浩君、藤井英理君と一緒に、若いメンバーが参加しやすい環境を造るために先輩後輩の壁をとっばらって積極的に若手と同じ時間を過ごすように意識した。若手だけが集まるミーティングも計画したし、意識的に仕切り役をさせて「JCはおもしろい」と感じてもらう事から取り組んだらええんちゃうかと。メンバー数が少なくなってきたからこそ全員で運動できる組織になっていかなあかんのちゃうかと。

誤解の無いように言うておきます。偶然にも数年後、寺尾君も僕も藤井君も理事長は拝命する事になる。ただ、理事長になる為にやってきた行動やない。先輩になるべき人間が後輩へ伝えていくべき伝承行為やと思ってやってきた。青年経済人の集まり。礼儀ある中での友情、これはなかなか難しい。でも、若いメンバーはそれに答えてくれた。今、自分の若い頃と、今の若いメンバーを比較すると、今はとてもたくましく頼りがいがある。壇上でのスピーチもしっかりしとる。自分の考えを、またJAYCEEとしての意見をしっかり言える。感心する事がよくある。「少なくとも俺、あんなふうに出らんなんだよな〜」って・・・

これから会員が増え、ますますこの加杉野地域の強いリーダーを西脇青年会議所から輩出していく事を切に願います。楽しみに見せてもらいます。

最後に、2009年度、皆さんに多大なるご理解とご協力をいただいたことを心より御礼申し上げます。1999年に入会してから11年間、西脇青年会議所には本当に世話になりました。色んな方々から多くの縁をいただき、晴れて卒業を迎える事が出来ます。本当に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



西村憲二



去る2009年12月12日(土)西脇市民会館大ホールにて、『第8回加杉野少年少女主張大会』が開催されました。

今大会では、(社)西脇青年会議所が立ち上げた『K.F.C.(加杉野ファンクラブ)』という地域の中学生で組織したボランティアサークルが企画段階から参加してくれました。そこで「合唱を取り入れてみよう!!」という新しいアイデアが生まれ、弁論と合唱による2部構成での開催を実現するべく取り組みました。過去実績ある事業だけに、教育委員会をはじめ、各中学校の先生方には積極的に協力をしていただきましたが、新型インフルエンザの影響による授業日数の不足や地域での行事や音楽イベントなどの相次ぐ中止、大勢の生徒の移動手段についてなど、課題は山積していましたが、何度も各中学校に足を運び、調整を繰り返しながら、何とか事業当日を迎えることができました。



当日は、各中学校より代表1名の計7名による弁論発表と、各中学校より代表1チームの計7チームによる合唱発表を行い、約300名の中学生がスポットライトの当たるステージに立ち、それぞれの形で自己表現をしました。ステージ上での中学生はそれぞれに光り輝いて見え、また舞台裏での態度も好意的で素直な印象でありました。

今大会は発表者をはじめ、企画・運営、また当日の司会進行や発表者誘導を行ってくれたK.F.C.など、沢山の中学生による主張発表が行われました。まさに『中学生の、中学生による、中学生のための主張大会』として開催出来たのではないかと考えております。今年度第9回を迎える主張大会が更なる発展を遂げられるよう、担当委員会に引き継ぎを行いたいと思います。

最後になりましたが、お世話になりました関係者の皆様やJCメンバー、そして何より、こんなにも素晴らしい事業を培ってこられた諸先輩方に心より感謝を致しております。本当にありがとうございました。(文:2009年度青少年育成委員長 西脇裕晃)

【弁論の部受賞者】

最優秀賞・・・加美中 古家冴香さん 優秀賞・・・八千代中 翁田麻鈴さん 審査員特別賞・・・西脇南中 陰山瑛未さん

2009年度新入会員のご紹介

2009年度中に入会した(社)西脇青年会議所の新しい仲間達をご紹介します。



石野肇朗君

いしのとしあき
(株)石野精機製作所 専務取締役
食品機械販売並びに製造業

2009年5月に入会させて頂きました石野肇朗と申します。

入会以降、あっという間に半年が過ぎ、青年会議所という団体が少しだけ肌で感じる事ができてきたように思います。まだまだ諸先輩方が築いてこられた西脇青年会議所の真髄は熟知できておりませんが、これからの事業等に真剣な姿勢で取り組み、加杉野地域のため、又自分自身の成長のために、一步一步確実に歩いて行きたいと考えております。まだまだ至らぬ事ばかりですが、宜しく願い申し上げます。



岸本晃典君

きしもとあきのり
第一不動産(株) 代表取締役
不動産業

2009年10月に入会させて頂きました岸本晃典と申します。

西脇青年会議所に入会から3ヶ月、まだまだ分からない事ばかりです。今年度は、総務広報委員会に配属され、組織全体を知る良い機会だと思っています。

西脇青年会議所を通して加杉野地域に少しでも貢献出来るよう頑張りたいと思っていますので、宜しく願い致します。



田中洋一君

たなかよういち
(株)アーリークロス 代表取締役
保険代理業

2009年7月に入会させて頂きました田中洋一と申します。

住所もなかった私をJ.Cの一員に入れて頂き、心より感謝いたします。大阪で生まれ、小中高と西脇で学び、大学は大阪で、就職し滋賀県で5年。その後、一番住み慣れたこの地域で保険代理店として独立、開業。なんとかこの地域で生活できるようになり、またこの地域で生活できるようにして頂き、今後はこの地域の為に私の小さな力ではありますが少しでもお役に立てればと考えておりますので、宜しく願いいたします。